

「製品別原価管理」導入支援

どの製品が利益を生み出し、 どの製品が会社収益の足をひっぱっているのか

■製品別原価管理の意義

一般的に仕掛品評価を目的として行われる原価計算だが、「原価管理」の側面では・・・

- 販売価格を決定 ⇒ 販売価格の決定あるいは新製品の製造受注判断の場面で、製品の収益性を把握できていないと、いくら売っても利益が出ない 恐れがある
- 原価低減を推進 ⇒ 原価構成やムダな費用が掴めず、具体的な 原価低減策を立案できない
- 経営計画を策定 ⇒ 販売拡大を狙う製品や縮小すべき事業など、経営の意思決定が下せない



■しかし、製品別原価の把握は難しい。。。何故なのか？

- ◆ 製造原価の計算が複雑
- ◆ 製品ごとに発生費用を紐付けることがしにくい
- ◆ 製造・生産管理の知識と会計の知識の両方が必要
- ◆ 決められたルールはなく、会社規模・製品種類・生産形態などにより原価計算のやり方が異なる（十分に検討し適切と思われる方法を決める必要がある）など

■TASC の導入支援サービスを利用してみませんか？

- 「製品別原価管理」の導入支援 により製品別原価がわかるようになる
 - ✓ 製造・生産の実状 を現地現物で確認
 - ✓ 費用発生メカニズムを把握し、財務情報とその他管理のための各種情報を用い どのような原価計算が適切で実現可能か 検討し、ご提案
 - ✓ 実際のデータに基づいて 製品別原価の集計 を実施
 - ✓ エラーがないか、また継続運用が可能かを検証し、仕組み（定常業務）として導入



サービスフロー

①現状調査
(2～4週間)

②課題まとめ
(1週間)

③仕組み導入
の提案
(2～4週間)

④製品別原価
集計トライ
(12～24週間)

⑤仕組み導入
(12～24週間)

お気軽にご連絡ください ▶ ▶ ▶

株式会社トヨタアカウントサービス (TASC)
トヨタ経理サポートグループ グループ長
北澤 輝昌
Mobile: 090-1863-9312
E-mail: tkitazawa@tasc2000.co.jp

〒450-0002
名古屋市東区名駅三丁目 25 番 9 号
堀内ビル 9 階
TEL: 052-581-7770 (代表)
FAX: 052-581-7780